

# もっと知ってくださり、酪農のこと — 幌延の基幹産業は酪農です —

5月11日(月)、平成21年度の幌延町ホルスタインショーが共進会場で開催されました。

ホルスタインショーとは、乳牛の体格や育成状況などを競うもので、今年は無経産の部、経産の部ともに、無量谷 稔さん所有の牛が最高位に輝きました。

幌延町の酪農は酪農です。今回は幌延町の酪農の現状について、ご紹介したいと思います。

幌延町の家畜飼養戸数は、平成21年5月現在97戸で、その内、生乳出荷戸数は88戸、その他9戸となっています。昭和55年頃には専業、兼業併せて200戸



近くあったことを考えると、少し寂しい気がします。牛の頭数は、平成20年11月現在で経産牛が5,758頭あり、未経産牛を含む乳牛全体では9,667頭となります。肉用牛は372頭ですが、他町の牧場へ預けている肉牛もいます。

生乳生産量は、平成20年の1年間で44,020.5t。地区別では、幌延地区26.2

14.8t、問寒別地区17,805.7tです。近年では、酪農も近代化され、搾乳ロボットなども導入されています。ま

た、地域の大切な資源である牛乳を生かした新しい産業創出の試みとして、「幌延チーズ工房設立研究会」が研究を進めるなど、新しい酪農の町のあり方などを模索するグループも誕生してきました。



ちよつと考えてみませんか？

幌延町の酪農の歴史(抜粋)		
年月日	できごと	
明治32年	1899	下サロベツに福井団体入植 本願寺、天塩、法華宗の各農場設置
大正14年	1925	岩手県から2才牛10頭導入
昭和2年	1927	問寒別に初めて乳牛が導入される
昭和8年	1933	問寒別、幌延に産業組合設立
昭和11年	1936	幌延に集乳所を設置
昭和13年	1938	酪連幌延工場(現在の雪印乳業幌延工場)操業開始
昭和19年	1944	幌延、問寒別産業組合合併、幌延村農業会発足
昭和21年	1946	問寒別農業会設立(幌延村農業会から分離)
昭和22年	1947	北斗農場入植
昭和23年	1948	問寒別と幌延に農業協同組合設立
昭和24年	1949	幌延地区人工授精事業開始
昭和27年	1952	家畜保健衛生所設置。全村で家畜人工授精事業実施
昭和31年	1956	西天北集約酪農地域に指定
昭和32年	1958	乳牛1,000頭達成記念式典挙行 雪印乳業(株)、問寒別工場を設立
昭和39年	1964	牛乳生産100石突破農家110戸となる
昭和44年	1969	乳牛5,000頭達成記念まつり挙行
昭和46年	1971	農協による酪農ヘルパー発足
昭和47年	1972	幌延地区バルククーラー第1号設置 南沢町営草地、放牧開始
昭和48年	1973	幌延農協、集乳用タンク車導入
昭和50年	1975	雪印乳業(株)、問寒別工場閉鎖 集乳全面タンクローリーとなる
昭和52年	1977	雪印乳業(株)新幌延工場落成
昭和56年	1981	北斗農場に肉牛生産基地落成
昭和59年	1984	牛の受精卵移植技術の利用開始
昭和60年	1985	牛乳生産、一戸平均200t達成
平成2年	1990	幌延町畜産振興公社設立
平成3年	1991	幌延町和牛生産改良組合設立
平成4年	1992	幌延農協と問寒別農協合併、幌延町農業協同組合設立
平成5年	1993	幌延町酪農ヘルパー利用組合設立
平成16年	2004	幌延町酪農担い手育成センター設立